

平成 28 年度一般会計当初予算のポイント

I 平成 28 年度一般会計の姿

- ★ 平成 28 年度一般会計当初予算の規模は、対前年度比 13 億円・2.2%増の 622 億 3 千万円。

| | H28 | H27 | H26 |
|-------|-------------|--------|-------------|
| 当初予算額 | 622 億 3 千万円 | 609 億円 | 660 億 3 千万円 |
| 対前年度比 | +2.2% | -7.8% | +13.4% |

なお、国の平成 28 年度一般会計予算伸び率 +0.4%
 平成 28 年度地方財政計画（通常収支分見込み）伸び率 +0.6%程度

II 歳入

- ★ **市税**は、賃上げの動きの拡大等による個人市民税の増、新增築家屋による固定資産税の増等が見込まれ、対前年度比 2 億 7 千万円・1.3%増の 214 億 2 千万円。

| | H28 | H27 | H26 |
|-------|-------------|-------------|--------|
| 当初予算額 | 214 億 2 千万円 | 211 億 5 千万円 | 214 億円 |
| 対前年度比 | +1.3% | -1.2% | +0.6% |

- ★ **地方交付税**のうち、普通交付税においては、本市における基準財政需要額及び基準財政収入額の推計、及び、普通交付税の算定の特例（合併算定替）の段階的縮減等から、特別交付税と合わせて前年度比 2 億 5 千万円・1.8%減の 141 億円。

- ★ **市債**は、新・健康センター建設事業、及び、ごみ処理基盤施設建設事業の増等により、対前年度比 8 億 9 千万円・25.8%増の 43 億 5 千万円。

うち、臨時財政対策債は、対前年度比 2 億円・11.0%減の 17 億円。

- ★ **市債借入残高**は平成 28 年度予算を反映させると、1 億 2 千万円の減。

借入額 43 億 5 千万円、償還額 44 億 7 千万円。

前年度末見込み額 480 億 2 千万円、平成 28 年度末見込み額 479 億円。

★ 財源不足に対しては、財政調整基金繰入金、臨時財政対策債により対応。

財政調整基金繰入金は、前年度と同額の10億円を計上。

Ⅲ 歳出

★ **消費的経費**は、対前年度比12億1千万円・2.8%増の445億3千万円。**投資的経費**は、対前年度比1億7千万円・3.3%増の53億3千万円。**その他の経費**は、対前年度比5千万円・0.4%減の123億8千万円。

※義務的経費について

- ・ **人件費**については、主に退職手当の減額により、対前年度比4億8千万円・4.7%減の98億6千万円。
- ・ **扶助費**については、障害者総合支援費、私立保育園扶助費の増額等により、対前年度比9千万円・0.6%増の150億4千万円。
- ・ **公債費**については、対前年度比2億1千万円・4.0%減の49億7千万円。

※投資的経費について

- ・ **普通建設事業費**については、新・健康センター建設事業費、ごみ処理基盤施設建設事業費の増額等により、対前年度比1億7千万円・3.3%増の53億2千万円。

※その他経費について

- ・ **繰出金**については、主に、国民健康保険事業特別会計繰出金、介護保険事業特別会計繰出金、後期高齢者医療事業特別会計繰出金の増額により、対前年度比5億1千万円・7.7%増の71億7千万円。
- ・ **物件費**については、委託料、賃金、備品購入費の増額等により、対前年度比5億円・5.7%増の94億円。
- ・ **補助費等**については、高齢者臨時福祉給付金、臨時福祉給付金等の新規計上等により、対前年度比11億円・13.4%増の93億5千万円。

IV 主な財政指標

★ 一般財源総額

412 億 1 千万円（平成 27 年度＝412 億 5 千万円 対前年度比 - 0.1%）

なお、地方財政計画（通常収支分見込み）上の対前年度比 +0.2%

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債と県からの交付金の合計をいう。

★ 一般財源比率

63.5%（平成 27 年度＝64.6%）

なお、地方財政計画（通常収支分見込み）では 67.5%程度

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税と県からの交付金の合計をいう。

★ 市債依存度（臨時財政対策債を含む）

7.0%（平成 27 年度＝5.7%）

なお、地方財政計画（通常収支分見込み）では 10.3%程度